

「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2025 第一弾！を実施しました。

2025年7月2日（水）16時30分から「学内で地域医療の体験ができる」課外授業シリーズ 2025 第一弾！を実施しました。

今回は、竜王町にある訪問看護ステーションゆげ 訪問看護認定看護師 雨森 千恵美先生をお招きし、「訪問看護の魅力をたっぷり味わいながら・・・多職種連携のコツをつかもう」をテーマに訪問看護の実際や多職種連携についてご講演いただきました。

当日は学部生 21 名、大学院生 1 名、教職員 10 名の合計 32 名の参加がありました。

利用者の方やご家族の方、近隣住民、地域の関係者も援助の対象とし、利用者お一人ではなく周りの方々にも目を配りケアすることの大切さや、訪問薬剤、訪問介護、訪問リハビリテーションなど、それぞれの役割について、利用者の方の希望に添い、最後を迎えられるように多職種でのチーム連携の大切さを教えていただきました。

また、福祉専門職を中心としたDWAT（災害派遣福祉チーム）にも所属され、能登の災害現場に派遣された時の経験を交え、災害現場での訪問看護師の役割の大切さをお話いただきました。

講演の後半には、学生同士で「これからの多職種連携には何が重要なのか？」などをテーマにグループディスカッションを行いました。

参加学生からは「生きがいを持つことが生きる活力となることがよく分かり、利用者さん一人ひとりと密接に関わりそのサポートができる在宅医療の良さを感じた。」といった感想があり、本講演は盛況のうちに終了しました。



（この講演は 医学・看護学教育センター、滋賀県医師キャリアサポートセンター、NPO 法人 滋賀医療人育成協力機構との共催で実施しました）